



「クリソプレーズ（緑玉髓）」

その色は春の若葉のごとく鮮やかに、深き森の奥にきらめく泉の如し。翡翠に似て玉のごとく滑らかなる肌理は、人の掌に収まりて温もりを増す。

古より聖石として崇められしこの石は、エジプトの王冠を飾り、聖書の城壁を彩りき。皇帝の宝剣に嵌められしは、その清浄なる気を以て邪気を祓う力なりと信ぜられし故なり。

この石を胸に抱く者は、心の乱れを鎮め安寧を得、新たな命の芽吹きを感じん。古の賢人はその色を「黄金に映える緑」と称え、愛と調和の象徴とせり。

天然の造形美と靈力を兼ね備えしこの石こそ、大地の贈り物の極致と申すべし。

Chrysoprase



SiO₂

